



笑顔輝き 魅力あふれる和木町

# 広報ななみ

## 2

2023  
February

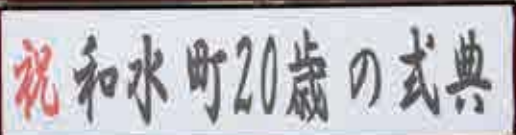


主な内容

- 令和5年 和木町 20歳の式典 (P2～3)
- 合同特集 玉名圏域定住自立圏×SDGs (P4～7)







和水町20歳の対象者  
対象年齢…平成14年度  
生まれ  
該当人数…92人  
(内、菊水地区57人、  
三加和地区35人)



## 20年分の感謝と、希望の門出。 令和5年 和水町 20歳の式典

1月4日(土)、和水町体育館で、令和5年和水町20歳の式典を開催しました。

会場には、20歳を迎えられた77人(対象者92人)が、久しぶりに会う友人たちとお互いの晴れ姿を写真に収める姿や、思い出話に花を咲かせている姿が見られ、笑顔が溢れるひとときとなりました。

式典では、石原町長、米田教育長、高木町議会議長から20歳を迎えられた皆さんへ、温かいお祝いのメッセージが送られ、20歳の誓いのことばでは、対象者を代表して、浦田楓馬さん(馬場)と武田勇輝さん(板楠東)が、20歳を迎えた抱負や決意、お世話になった人たちへの感謝、和水町への思いなどを発表されました。

20歳という人生の節目を迎え、大人としての新たな一歩を踏み出された皆さんの今後益々のご活躍を期待しています。







## 代表者意見発表 浦田 楓馬さん

本日は、私達のためにこのような盛大な式典を開催して頂き、まことにありがとうございます。

今日こうして20歳の式典を迎えることが出来たのは、両親や家族、先生方や友人達また数え上げればキリがないくらい、沢山の方々の支えによるものだとか感謝しております。

20歳の式典を迎えた今、皆さんは20年間を振り返り、何を感じますか？私は、多くの方々へ感謝の気持ちと、あつという間だったなと感じています。

私は現在、高校を卒業してから愛知県に就職が決まり、社会人として愛知県で暮らしています。私は社会人2年目ですが、社会人として沢山の事を学ぶことが出来ました。

さて、今回、私が誓いの言葉を任されるということで、私自身の20年間を振り返ったところ、この20年間で色々な事を学ぶことが出来ました。私は20年間を振り返った中で特に伝えたいことが2つあるので、皆さんにこの場を借りて伝えたいと思います。

まず、1つ目は、感謝する気持ちです。私は先ほども伝えたと今には愛知県で暮らしています。しかし、親元を離れ、生活をする中で、今まで当たり前のようにやっていた事が当たり前じゃないという事を肌で実感することが出来ました。今、20年間を振り返ると自分の傍には、常に両親がいて、両親に支えられて生きてきました。両親には、沢山迷惑をかけたと思いますが、もう私は成人を向かえたので、今まで迷惑をかけた分、それ以上に恩返しをして、立派な親孝行が出来るように、これから頑張っていきます。皆さんも20年間を振り返ると両親の存在は自分の中でとても大きかったと思います。普段、恥ずかしくてあまり感謝の気持ちを伝えることが出来ない人も、ぜひ「ありがとう」の一言でも沢山の愛情を注いでくれた両親に伝えて欲しいです。

2つ目は、挑戦するという事です。私は、高校を卒業し、就職の道を選びました。仕事はきつく、辛いことや、色々な選択に迫られる場面もあります。そんな時、私は、自分の直感を信じ、失敗を恐れず挑戦し続けてきました。挑戦することにより、自分にとってプラスになることが多々あったと感じています。是非、皆さんにも挑戦する気持ちを大切にして欲しいです。

最後になりましたが、まだまだ未熟な私たちです。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。そして、多くの方々に感謝すると共に、この20歳の式典に携わってくださった皆様にお礼をし、代表挨拶の言葉とさせていただきます。

## 代表者意見発表 武田 勇輝さん

本日は、私たちのために、何日も前から式典の準備していただき本当にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました皆様、ご出席賜りました皆様、誠にありがとうございます。二十歳を迎えた私たち対象者を代表いたしまして、少しでもお話をしようと思います。

このような世界情勢の中、無事に二十歳を迎えることができ、私たちは恵まれているのだとつくづく思います。二十歳の節目を迎え、これまで歩んできた道を振り返ってみると、長いようであつという間でした。そのように思えるのも、この20年間でとても濃密で、有意義であつたためだと思います。いままでも出会ったすべての人、すべての出来事に感謝しています。いままでもありがとうございます。

中学校を卒業して以来、それぞれが異なる道に進み、私のようにまだ学生の人や、就職し働き始めている人もいます。道は違ってもそれぞれの場所、それぞれの立場で自分の行動に責任をもち、社会の一員として日々奮闘していることでしょう。

おぼろげながら、私は小学生の時に成人式へ挨拶をしたに行った記憶があります。その時は周りに大きな人だらけでとても緊張していましたが、今では私がその大きな人になり、こうして成人式へ帰ってくることで、とても感慨深いです。

中学校卒業後、和木町を離れましたが、連絡をくれる友達がいったり、大河ドラマのニュースが入ってきたり、つながりが切れることはありませんでした。地元として、いつまでも私の心に残るのだらうと思っています。

私は、これから大活躍するエンジニアになる予定ですので、何か町で行うときにエンジニアが欲しいとなれば、その時は私に声をかけてください。喜んで、私の力を貸します。

これから先の不安定な世界で、私たちは悩み、傷つきながらも小さな希望を信じながら、一歩ずつ前に進み、勇ましく生きていくことを誓います。

私たちは、本日、二十歳という、人生の大きな節目を迎えましたが、社会人としてまだまだ未熟です。どうか、これからも温かい目でご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

簡単な言葉ではございますが、以上で代表の挨拶とさせていただきます。





学校全体で SDG s に取り組んでいます！

専修大学玉名高校（玉名市岱明町）ではSDGsを身近なところで取り組める・取り組む問題として、生徒それぞれが向き合い、学校全体で取り組まれています。授業ではみそ汁をテーマに材料やみそ汁ができるまでに必要な資源について考えることや、美化清掃は範囲を校内から学校周辺地域に広げたり、また夏休みには小学生を招いて学習活動と一緒に取り組んだりされています。「学校生活×地域」を全校生徒で実践中！！



## 食が持つ力で温かい居場所づくり

「ひとり社会」が進んでいる中、NPO法人キッチンるぱ（玉名市中）では、毎週木曜日に「子ども食堂」を開催し、ホッと気が抜ける雰囲気の中で、友だちやさまざまな年代の大人との交流を楽しみながらご飯を食べ、学習支援なども同時に行う活動をされています。代表の相馬さんは「ここで自分の可能性に気付いた子ども達を見るとうれしくなります。みんながつながる温かい居場所づくりが各地で広がればいいと思います」と話されています。



# 玉名市 × SDG s



～ 各市町の取り組みを紹介します！～

## 「町民」×「民間」×「行政」 協働のエネルギー再資源化の取り組み

NPO 玉東エコクラブ（玉東町西安寺）では、コンテナ収集（資源物の拠点回収）で町民から回収した廃食油を精製し、バイオディーゼル燃料（BDF）として再利用する活動を行っています。BDF は、町のごみ収集車両などに利用され、エネルギー再資源化のサイクルを町内コミュニティだけで実現しています。この活動が評価され、令和元年に地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞しました。



## 地域ぐるみで目指す国際理解と多文化共生社会



玉東町では、グローバル化の進む日本社会や世界規模レベルのさまざまな問題と向き合うために、国際理解に向けた活動や多文化共生社会（誰もが生きやすい社会）の創出を推進しています。具体的には、派遣前海外協力隊員（JICA）を研修生として招き、町の地域課題解決と国際的な視野の構築を目的としたグローバルプログラムや、認定 NPO 法人れんげ国際ボランティア会（玉名市築地）と協働で行うウクライナ避難民受け入れ支援事業に取り組んでいます。







**南関町**  
NANKAI TOWN



## 総合的な学習の時間において

### SDGsの取り組みを実践中

南関中学校（南関町小原）では、総合的な学習の時間のゴールのデザインとして「南関町のためにできること、自分たちのためにできることを考える」をSDGsの視点から設定しています。各学年での調査活動や体験学習を受けてのまとめの学習、発表の場を「南関中文化の日」において行っています。

## 自然と融和した県北の環境教育の拠点



環境学習の様子

エコアくまもと（南関町下坂下）は、産業廃棄物の最終処分場（クローズド・無放流型）であるとともに、循環型社会や脱炭素社会、自然共生社会をテーマとした環境学習に取り組んでいます。場内のビオトープは「ホタルの育成」や「スジエビ釣り」などの自主イベントに活用し、自然と触れ合える場として多くの人に親しまれています。平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨の際には多くの災害廃棄物を受け入れ、被災地の復旧・復興の下支えに寄与しています。



# 玉名圏域定住自立

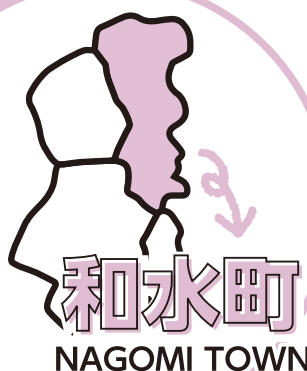
（玉名市・玉東町・南関町・和水町）



## 「地域未来塾」開講！

～地域と共に子どもたちの夢をサポート！～

和水町では、放課後に学習支援を必要とする中学生に対して、地域住民の協力により学習指導を行う「地域未来塾」を毎週水・木曜日に公民館で実施しています。生徒たちは、宿題を中心に集中して勉強に取り組み、分からない部分は学習支援員に質問しながら理解を深め、楽しく学びながら、良い学習習慣を身に付けています。今後も地域の未来を担う子どもたちの、夢の実現に向けた取り組みを推進していきます。



**和水町**  
NAGOMI TOWN

## クリーンクリーン作戦に取り組んでいます！



和水町では、環境美化活動として熊本県環境月間である6月に町内一斉のボランティア清掃作業を毎年実施しています。本年度は、66行政区の区民の皆さんに参加を呼びかけ、町内25事業所から参加がありました。道路や河川敷のごみ拾いに継続して取り組むことで、町全体の環境保全への意識向上を図り、環境美化活動の普及につなげています。





↑ ぬってみよう!!





エ ス デ ィ ー ジ ー ズ

# SDGs ってなあに？

わたしたちが これからも あんしんして  
この ちきゅうで くらしつづけるために  
せかいじゅうの みんなで きめた  
2030ねんまでに たっせいする  
17のもくひょうのこと

それってたとえば  
こんなこと！



貧困をなくそう  
こまったひとを たすける



飢餓をゼロに  
たべものは のこさない



すべての人に健康と福祉を  
よく うんどうする



質の高い教育をみんなに  
すすんでべんきょう おしえあう



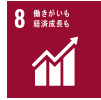
ジェンダー平等を実現しよう  
いえの おてつだいを する



安全な水とトイレを世界中に  
みずを だいじに つかう



エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
でんきは つけっぱなしに しない



働きがいも経済成長も  
きんじょで おかいもの



産業と技術革新の基盤をつくろう  
インフラ について しらべる

※インフラ…道や発電所、病院や学校などの生活するのに必要なもの



人や国の不平等をなくそう  
いじめや さべつを しない



住み続けられるまちづくりを  
ちいきの みんなと きょうりよく



つくる責任 つかう責任  
つかいすてを へらそう



気候変動に具体的な対策を  
リサイクルを しよう



海の豊かさを守ろう  
ごみは もちかえる



陸の豊かさも守ろう  
きのうよりも うつくしく



平和と公正をすべての人に  
ともだちを たいせつにする



パートナーシップで目標を達成しよう  
みんなで SDGs に とりくもう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

玉名圏域定住自立圏

ーたまな・ぎよくとう・なんかん・なごみー